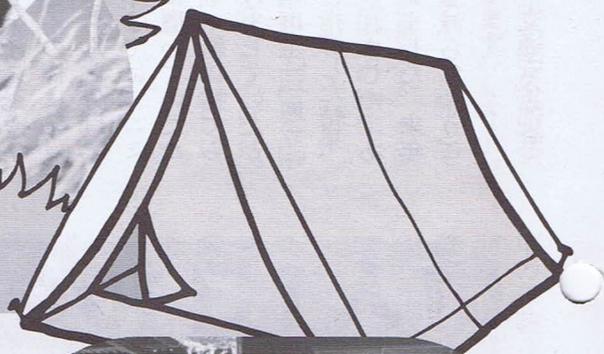


ふれあいを求めて



はづ夏祭り
イン
ミニアム20000



米洗川にて

地区防災訓練
(8/27)



キャンプ(青少協)

～住みよい地域をめざして～

羽津地区人口 総数 15,097人 男 7,686人 女 7,411人 世帯数 5,517世帯 (H12.9末現在)

[再生紙を使用しております]



現在、児童数四二七名で、十五年前と比べると、半減した。しかし、子どもたちの明るさと元気よさ、素直でハキハキしているところは、今も変わっていない。これが、羽津っ子のよさであり、羽津小学校の誇りでもある。職員室から外を見ると、緑豊かな木々に囲まれた運動場

羽津小学校紹介

とそこで仲良くかけまわる子ども達の姿が見える。そんな姿いっぱい学校でありたいと願っている。

本校では、二〇〇二年から始まる新指導要領にある「生きる力の育成」を目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動に取り組んでいる。「特色ある」とは、特別なことをするのではなく、地域に合ったことを子どもの立場に立って進めることであり、子ども・保護者・教師がなるほどと納得できるような教育でありたいと願っている。

そんな思いで、昨年度から「自分の思いや考えを、豊かに表現できる子どもを育てる」をテーマに、体験を通して自ら課題を見つけ、解決できるような子どもを育成を目指して取り組んでいる。「総合的な学習」も、その一つである。

各学年の主な取り組み内容
【第一学年】
パソコンで名刺作り。六年



環境学習 (羽津小学校にて)

環境を考えるシリーズ その③

便利さばかりを求めて…

環境リーダー養成講座を受講して

我が国は、エネルギー資源を始め、食料・生活物資など各国から輸入し、世界有数の豊かな暮らしを享受しています。便利さばかりを求めると、今の生活様式が、大気汚染、地球温暖化、酸性雨などといわれる地球規模の環境破壊に私達も深くかかわっている事に気づかされました。

私たちの身近な所でも、自動車による大気汚染、生活排水による水質汚濁、ゴミの増大による処理問題など、私たち自らの暮らし方を見つめ直して、エネルギーの節約、各家庭でのゴミ処理の仕方、リサイクルの工夫など、快適な環境づくりに関心を寄せる必要を痛感しました。

(受講生)



盆踊りの「Bin」

今回から、盆踊り大会時に出したゴミの分別回収を徹底するため、環境・交通安全部員が交代で指導にあたりました。分別の指導をしていると、子どもも大人もアイスクリーム、キャンディーの外袋と木の棒に分けて出すなど、きちんと分けていました。昨年までは、ゴミ箱を何ヶ所かに置いていたためか、何もかも一緒に捨てられ、後日仕分けをしていたと聞き、今年「再生」「埋立」「燃えるゴミ」と指導した結果、きれいに分別されました。ありがとうございます。来年は、ゴミの量を減らすようご協力をお願いします。

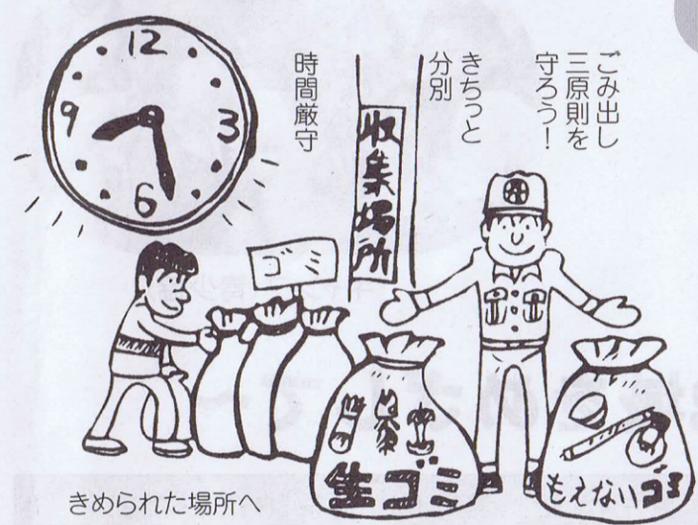
(環境・交通安全部会)

1人1日100グラムの ごみ減量を!!

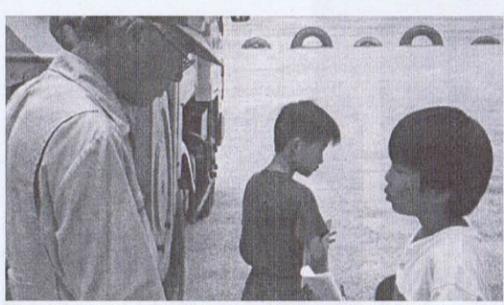
～100グラムのごみってどのくらいだろう～

- バナナの皮 2枚
- 新聞紙5枚(20面)分
- ポケットティッシュ 約9パック

※これらはおよその目安です。



きめられた場所へ



質問します? (4年生)

【第二学年】
近くの志氏神社や垂坂公園、羽津山緑地へ春を見つけに、いろんな野菜作り。雨の日に、運動場でダム作り。

【第三学年】
地域の神社・寺、公共施設、店、工場、住宅等、地域にどんなものがあるかの調査。学年あるいはグループで調査したことを発表しあう。焼き物づくり。

【第四学年】
家庭・地域に出たゴミの問題について考える。ゴミ収集

生にうちわを作ってプレゼン。学校探検スタンプラリー。お手製の探検ボトルを持って城山公園へ自然観察に。野菜や花づくり。校区内の探検。

車の体験。ゴミ問題から環境問題へと意識の向上を目指す。障害を持つ人の思いに触れながら福祉問題を学習していく。

【第五学年】
いろんな野菜を育て、それを料理する。自然の中での生活の仕方をインターネットで調べる等、二期の自然教室を自分たちの力で取り組んでいく。



味は最高だよ!! (5年生)

【第六学年】
自分たちで一年間の活動計画を立て、発表し合う。地区の方に畑を借りての野菜作りや他学年・地域との交流。修学旅行の内容を自分たちで計画する。



たくさん掘ったよ!! (6年生)

子どもたちの考えを尊重し、活動していく中で、子どもたちの興味・関心はほとんど広がっていく。コンピュータを駆使したり、いろんな体験を重ねていく中で、子どもたちの意欲は、ますます高まってきている。しかし、子どもたちのこうした活動には、どうしても家庭や地域の協力・ご支援をお願いしなければならぬ。学校・家庭・地域の連携を深め、「地域に開かれた学校」を目指して、なお一層の努力を重ねてまいります。どうか今後とも、日々の教育活動推進にあたっては、温かいご理解とご支援を切にお願いいたします。

校長 羽田 光行

はづ夏祭り インミレニウム 2000



大盛況!!
「はづ夏祭り」の
「インミレニウム1000」
開催される

今年の地区盆おどり大会。名づけて「はづ夏祭りインミレニウム2000」は八月十二日(土)に開催された。台風接近の予報が出る荒れ模様であったが、主催者側の開催への熱意に押されてか遙か洋上を通過し好天となった。今年の特色として環境問題(ゴミの分別)を取り上げ、模擬店より出されるゴミの分別指導をして、大きな成果が得られ、今後の良き方向づけができたと思います。内容としては例年のごとく、模擬店、カラオケ、踊りコンクール、お楽しみ抽選会など盛りだくさん、約1000人の人出で大盛況でした。大会開催にあたり連日ご協力をいただいた方々には誠にありがとうございました。(文化部)



▲いよいよ開店



▲只今準備中



行灯張り▶
(文化部)

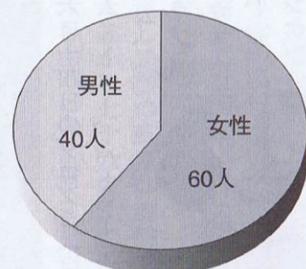
100人に聞きました!! 声声声

実施月日 平成12年8月12日(土)
実施場所 羽津小学校校庭 盆踊り会場にて
実施人数 100名

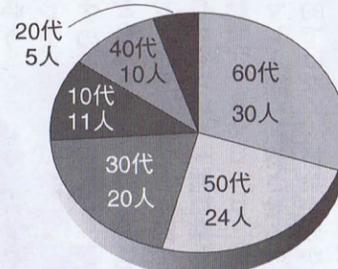
問1 あなたは羽津地区にお住まいですか。



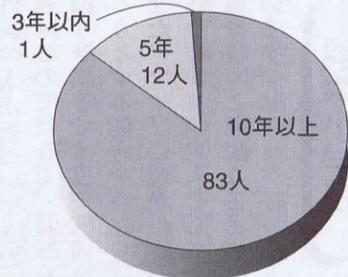
問2 あなたは



問3 あなたの年齢は



問4 (問1)ではいと答えた人だけに質問...羽津に住んで何年ですか。

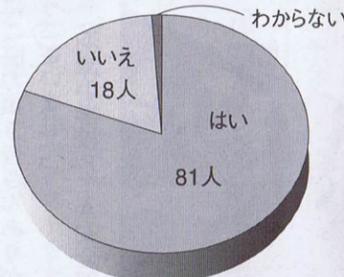


問5 盆踊りに参加してどうですか。また何を楽しみにしていますか。(複数回答)

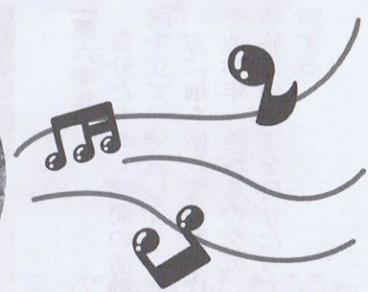
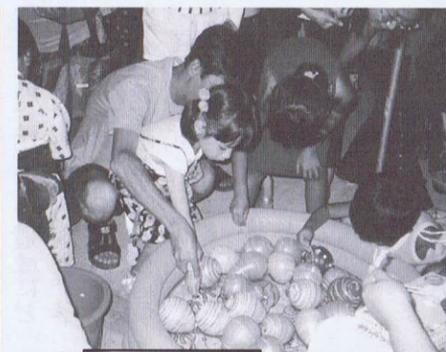
- 楽しかった
- みんなに会える
- バザー
- カラオケ
- 子ども(孫)にせがまれて
- 盆踊りを見たい



問6 最後に地区の広報紙「はづ」を知っていますか。



ご協力ありがとうございました。(広報部)



▲おいしいよ!



学校だより

羽津中学校

自信のある笑顔

羽津中二年 森 麻実

「堂々としてるなあ」
アメリカに着いて二日目、小学校を訪問した時に関心しました。アメリカの小学生は、とても積極的に自分のする事に自信を持って行動していました。そして、年上である私たちに對しても緊張する様子もなく、それでいて礼儀正しく接してくれました。



平成12年度 四日市市中学生海外使節派遣団
ロサンゼルス・ロングビーチ 8/16~23

私は人前に出るのが苦手、授業中もあまり発言はしないのですが、日本人にそういう人が多いのは「まちがってたらどうしよう」とか「笑われたらどうしよう」などと、考えてしまうからだと思えます。何事にも積極的にチャレンジし、失敗も成功も何度か経験すれば、自信が付き、周りの目を気にせず堂々と行動できるようになれると思います。

今回の訪問でユニバーサルスタジオに行ったり、ロングビーチ市長の席に座れたりしたこともうれしかったけれど、一番印象に残っているのは、こういった小学生や、ホストファミリーなど地元の人たちとふれあい、自分を見つめる時間ができたことです。

日本とアメリカの文化の違いを直接肌で感じることで、その違いを認め合っていくことの大切さを教えてもらった八日間に感謝します。



羽津北小学校

国際理解教室

羽津北小学校 校長 樋口 大良

二〇〇二年からの「総合的な学習の時間」の創設に伴い、本年度から移行措置がはかられています。昨年度から市教育委員会の嘱託研究指定を受け、いろいろ新しい取り組みをしています。

本校で、本年度は五十、八十時間程度の「総合的な学習の時間」を予定しています。その中の一つに、国際理解という分野があります。指導要領によれば「外国語会話等を行うときは、外国語に触れたり外国の生活や文化などに慣れ親しんだりする体験的な学習をする」とあります。

昨年度は、中国語、韓国語を使つての学習をしました。



今年はそのときのノウハウを生かして、マレーシアを皮切りに、中国語・韓国語・英語・ポルトガル語等に挑戦していきたいです。さらに、それぞれの国の文化に親しませたいです。その時の内容や行事計画の都合で、各学年が挑戦していくこととしています。

六月十四日に六年生、二十八日には五年生が、マレーシアから陶器工場に研修に來られていた方々と交流を行いました。

六月十四日のプログラムは、ラム・トイー、パトゥー・サラム、トゥジ、ユカス、イー、ジエンケ、セバタ、クロ、というマレーシアの子どもたちがよく遊ぶ遊びを、マレー語と少々の日本語で説明してもらい、一緒に楽しむ活動です。

マレー語を習得させるのが目的ではなく、言葉が分からなくても一緒に過ごせる体験を子どもたちにさせ、そして、

スポーツ少年団

羽津野球少年団

羽津スポーツ少年団は、野球・サッカー・バレーボール・剣道・水泳（休部中）の5競技を羽津小学校と羽津北小学校の児童が合同で頑張っています。（Jr.サッカーは中学校サッカー部）しかし、野球は羽津野球と羽津北野球との校區別に分かれています。その二チームが、三泗学童野球夏季大会（三十六チーム）の決勝戦（七月九日）で対戦しました。接戦の末、3対0で羽津北が優勝、羽津が準優勝に輝きました。そこで、羽津野球の渡辺政利監督と、羽津北野球の藤井義雄監督にお話を伺いました。



両監督に聞きました!!

問 スポーツ少年団指導にあたられて何年になりますか？

渡辺：二十年ぐらい
藤井：九年ぐらい

問 夏季大会と北勢選抜大会で、続けて決勝戦で対戦され羽津同士として他チームとの違いや、思い入れはありましたか？

渡辺：羽津北にも他チームと同じく、チャレンジヤー精神で臨んでいる。やる以上は頑張つて倒したい。

藤井：やはり、他チームと変わりなく戦っているが、すばらしいチームなので点を取るのに苦戦している。

問 相手チームをどう評価していますか？

渡辺：三泗のNo.1として、県大会でも優勝し、グラウンドスラムをめざしてほしい。

藤井：羽津は歴史のあるいいチームで古豪復活で嬉しく思っている。これからもよろしくお願ひしたい。

問 子どもの気質が変わったといわれますが…？

渡辺：ひと昔前は、好きで入部してきたので少々の事（きつくても）ついてきたが、今は子ども一人ひとりをみて判断しなければいけないし、遊び志向の子が増えた。

藤井：指示待ちの子が増えたので、それに合うように、



自分から進んで動く子が少ない。

秋季大会開会式直前の慌ただしい時間にお話いただきました。その後、開会式では甲子園、プロ野球をめざす選手達の堂々とした入場行進を見て日頃のご指導のすばらしさや、頑張っている練習の成果を感じ、目頭が熱くなり、各選手の誇らしげな姿が胸に残りました。ありがとうございます。

今回は、両野球部の活動報告となりましたが、他の部も頑張つて良い成績を収めています。

体力テスト

体育振興協議会

去る、九月十日（日）羽津小体育館で地区住民対象の体力テストが行われました。

その趣旨としては、体力テストを行うことにより、成年層・高齢層の人々が日常生活の基本となる体力を確かめ、その結果に基づき自分に適した運動を規則正しく行い、健康に自信を持つて生活をしてゆくために行うとあり、今回は改めて全国で、同じ種目で行われました。

蒸し暑さの残る体育館で、三十歳から七十六歳までの、三十名余りの参加者が体力テ



外国人の人が近づいてきたら、逃げるのではなく、身振り手振り筆談等で意思の疎通を図ろうとする能力を身につけさせたいです。これが生きる力につながり国際人としての資質を養うことになると考えています。

羽津小学校

通学路交通安全 キャンペーン

七月三日（月）今年も児童の登校時間帯に合わせてドライバーを対象に交通安全のチラシ、ティッシュ等を配布しました。

校長先生、PTA安全部、安協羽津支部の皆さんと一緒に配布し通学児童の交通安全の呼びかけをお願いしました。

当日は朝早くから非常に暑い中、交通安全キャンペーンにご協力頂き皆さんありがとうございました。

（羽津小学校PTA安全部）



ストに取り組みました。中には「上体起こし」で八回をこなすおばあさんもみえました。

体力テストは他人と体力を競うものではありません。最近ウォーキングをされている方をよく見かけます。日頃の健康づくりの成果として、また来年も行う体力テストをお勧めします。

カーブミラーの清掃

交通安全協会羽津支部

九月三日（日）午前七時より交通安全協会羽津支部役員が二人一組になり羽津地区全町のカーブミラー磨きを実施しました。

作業中「ご苦労さま」とか、「綺麗になったね」と沢山の方にうれしい声を掛けていただき作業もはかどり、一時間半程度で作業が終わりました。

また、鏡面の破損状況や、見やすい場所への移動等も点検し、早く復旧してもらえれば、報告いたしました。



球技大会

青少年育成協議会

七月三十日(日)、不安定な天候の中、羽津北小学校にて球技大会が開催されました。本年度の出場チームは、男子、女子チームは各十二チーム、混合チームは十三チーム計三十七チーム。いよいよ猛暑の中を練習した成果を出す日です。

保護者の方々も、子どもたち



ちの力強いプレーに興奮しながら一生懸命応援をしてくれました。勝ったチームも負けたチームも白熱した一日でした。

男子優勝 別名五、六チーム

準優勝 別名四チーム
三位 別名三チーム

女子優勝 八田

準優勝 一、二、三チーム
三位 別名五、六チーム
別名四チーム

混合優勝 別名一チーム
準優勝 羽津Bチーム

『ダメゼッタイ』は薬物乱用防止の合い言葉



アジサイ通り
ポイ捨てしないで
環境交通安全全部会

六月二十五日(日)朝九時より、羽津会館東側斜面と、羽津北小南側両アジサイ通りの花木の手入れと、草取りを環境・交通安全部員で清掃を行いました。

羽津会館の急斜面ではロープを身体に結び付けての作業で大変でした。

羽津北小南側のアジサイが大変きれいに咲きましたが、空き缶等、ゴミが沢山捨てられていて、残念でした。

空き地、道路等にポイ捨てしないで欲しいものです。



『花街道物語』への誘い

はなみずき
花づくり愛好会「花美好」が地区市民に呼びかけた作品が多数展示されます。

秋の一日、『まなびピア三重2000』へお出かけ下さい。

◆花街道物語の場所

近鉄霞ヶ浦駅～四日市ドーム間の約600mの歩道に於て

◆野外美術展開催日・花街道開通日

平成12年11月1日(水)～5日(日)

お年寄りに 敬老記念品贈呈

羽津地区では、本年七十歳以上、千二百六十二名“の方々”が、敬老の日を迎えられました。

地区では敬老行事として、長寿をお祝いして記念品を、各自治会を通して配布させていただきました。

今後、皆様方には健康維持に充分気を付けて、幸せな日々を“お送り下さい。”

(福祉部会)



編集室より ひとりごと

皆さん、今世紀もあと残すところとなってまいりました。未来に向かって子どもたち“に、より良い環境”を。そのために、何かできること“考えてみませんか。”